

令和6年3月15日発行 鷹山宇一記念美術館友の会
〒039-2501 青森県上北郡七戸町字荒熊内 67-94 七戸町立鷹山宇一記念美術館内
TEL 0176-62-5858 FAX 0176-62-5860 e-mail info@takayamamuseum.jp http://www.takayamamuseum.jp/

お陰様をもちまして
開館30周年
あなたに、伝えたい・・・
内なる美、静謐の美学
「吉野毅」展



「李花」 1987年 ブロンズ

品 格

ひと昔前、ベストセラーや人気ドラマで「〇〇の品格」というフレーズが流行したことがあった。惟(おも)うに「品格」は、自身が信じる芯のような幹で、これを真っ直ぐな気持ちで貫き続けようという心の顕れではないだろうか。それは、この美術館での仕事を通して身に染み得た感覚で、私たちの小さな美術館の収集作家たちは、「品格」という名においてどこにも引けをとらないと、感じている。館名を冠する鷹山宇一を筆頭に、七戸町ゆかりの鳥谷幡山、上泉華陽、平野四郎をはじめ、渡辺貞一、戸村春樹、鷹山と二科会とご縁から秋山庄太郎、織田廣喜、濱田進、そして何をおいても、彫刻家・吉野毅……。先生には1994年の開館から30年、長年にわたり支え続けて頂いた、特別の「ご縁」である。

先生はいつも裏表のない正直な言葉を掛けてくださる。それはどこまでも優しく私たちの心に響いた。その言葉一つが、折れそうになった心を支えてくれ、私たちの「今」があると一言でも過言ではない。老若男女、学歴職歴など歯牙にもかけず颯爽と、いつの時も同じ視線に立つての和やかな談話となり、美術界の現状やご自身の近況などをお話しくださる。彫刻を志してから60余年もの歳月を、信じた道をひたすらに歩まれてきた、清廉の重鎮なのである。

そして今、我が吉野毅先生の初の回顧展を、開館30周年記念特別展として、ようやく、鷹山宇一記念美術館で開催できる運びとなった。

1943年、房総九十九里浜にも近い千葉県睦沢町(むつざわまち)に生まれ、東京芸術大学を首席で卒業、二科会を中心に常に彫刻界の最前線で活躍をされてきた。抑制を効かせた端正なフォルムと静謐な空気を纏う女性像は多くの人々を魅了し、2012年日本芸術院賞受賞、2020年には日本芸術院会員に就任された。「賞」は作品を、「会員」は芸術家その人を顕彰するものと伺った。彫刻家としても一人の人間としても、その「品格」が公証されたものと、私は理解する。

今展は、先生のアトリエに収められている作品を中心に構成する。「アトリエに収められている」とは、「手元に置いておきたい大切な作品たち」ということでもある。まさに、特別な展覧会となる。

真の芸術とは、美術家とは何か……

その答えは「吉野毅」展が教えてくれることだろう。

(副館長／学芸員 大沢田 亜希子)

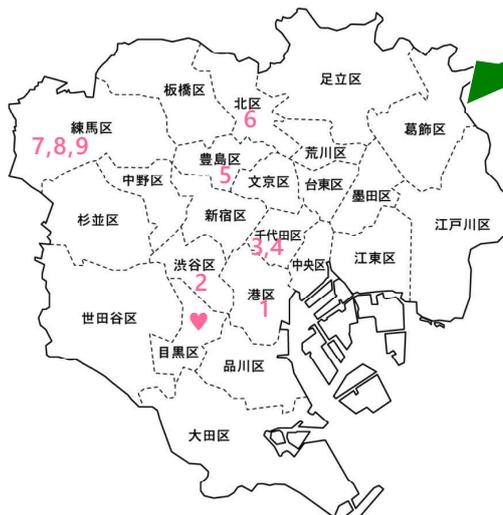
吉野毅先生の

パブリック・アート

〜東京都内と隣接県編〜 探訪!

いよいよ4月27日(土)から始まる開館30周年記念特別展「吉野毅」展。鷹山宇一記念美術館の室内でライティングされた作品を鑑賞するのはもちろん素敵ですが、彫刻作品にはならでの醍醐味、広場や公園などの公共的な空間パブリックスペースに配置された作品を楽しむことができるという、ダイナミックな鑑賞があります。

今展ではご紹介しきれない吉野先生のパブリック・アートを、ほんの一端ですが紹介します。首都圏へお出かけの際には是非お立ち寄りください。



先生の故郷
睦沢町
むつさわまち

1. フランシスカン・チャペル・センター (東京都・港区六本木)
2. 原宿キャット・ストリート (東京都・渋谷区)
3. 麹町4丁目交差点 (東京都・千代田区)
4. トーア再保険株式会社本社ビル (東京都・千代田区)
5. 都立大塚病院 (東京都・豊島区)
6. LaLaガーデン 赤羽スズラン通り商店街 (東京都・北区)
7. 練馬区立平和台体育館 (東京都・練馬区)
8. 練馬区立勤労福祉会館 (東京都・練馬区)
9. 練馬区立大泉交通公園 (東京都・練馬区)
10. 京王相模原線稲城駅南口ロータリー (東京都・稲城市)
11. 入間市立黒須地区センター (黒須公民館/埼玉県・入間市)
12. 所沢市民文化センター (埼玉県・所沢市)
13. ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル (神奈川県・横浜市西区みなとみらい)
14. 千葉公園/シベリア強制抑留慰霊碑 (千葉県・千葉市)
15. 八街市役所 (千葉県・八街市)
16. 睦沢町役場 (千葉県・睦沢町)



- ♥ 長泉院附属現代彫刻美術館 (東京都・目黒区)
- ♣ 千葉県立美術館 (千葉県・千葉市) *今展で作品を借用いたします

* * * * *

* * * * *



【菅野美術館】宮城県塩竈市玉川3-4-15
☎022-361-1222 時間/10:00~17:00
休館日/月・火曜日 * 詳細はwebサイトへ



JR塩釜駅から丘陵地の住宅街へ。坂道を歩くこと10分、ひととき目を引くおしゃれな建物が青い空を背景にあらわれる。遠くには海、塩釜の街を見下ろす眺めのいい高台。平日の朝10時すぎ、開館したばかりだからお客は私だけかも。彫刻だけの小さな美術館、ドキドキしながらドアを開ける。そこには「白亜の殿堂」が待っていた！自然光も取り入れた室内は白壁と影のコントラストも美しく、ロダン、ブールデルら近代フランス彫刻からマンズー、グレコ、ファッツィーニら現代イタリア彫刻まで、なんと豊かで贅沢な時間であったろう。珠玉のコレクション計8点のために用意されたという私設美術館。吉野毅先生も大ショックを受けたイタリア彫刻と一対一、じっくり向き合うことができます。こんな素晴らしい美術館が東北の地にあつたんだ！オススメです。(A.O)

おすすめ美術館

〜宮城県塩釜市〜 菅野美術館

3 / 30 (土) ~ 4 / 14 (日)
第83回国際写真サロン展



国際写真サロンは、1927年に全日本写真連盟の創立記念事業として朝日新聞社と共催で海外に呼びかけ、15

カ国が参加してスタートしました。国内では最も権威ある写真コンテストで、戦争などで一次中断しましたが、1950年からは毎年開催されています。写真芸術の最高のもを集めて展覧会をするというのが趣旨で、応募作品の内容に制限はなく、プロ・アマ問わず応募できるのが特徴で



国際写真

す。83回展ではインドの1,086点を最多に、72カ国から5015点の応募があり、国内からは4,210点が集まりました。本展では審査員特別賞を含む国内部門46点、海外部門55点の入選作品計101点を展示します。



最先端の写真表現や画像加工を駆使し独創性と芸術性に富んだ作品を是非ご覧ください。

- 【休館日】月曜休館
- 【入館時間】10:00~18:00 (最終入館17:30)
- 【入館料】一般500(400)円
 高大300(240)円
 小中学生無料
- ※()内は20名以上の団体割引料金
- ※その他各種10%割引

写真は上段右=審査委員特別賞「マンボウ」 亀田 穂 (千葉県) / 上段左=入選「お祝い」 佐藤 安津子 (青森県) / 下段=審査委員特別賞「Grievance」 Ipekchian Karine (RUSSIA)

学校連携

令和5年度 上北地方小学校教育研究会 図画工作部会冬季研修会
 上北図工教育ゼミナールが美術館で開催されました

ワークショップ「軽量粘土でスイーツづくり」



- ◇もっとやりたい、もっとゆっくりやりたい。…子どもの気持ちがよくわかった。
- ◇とてもおもしろくて夢中になって活動した。子どもたちにも是非取り組ませたい。
- ◇会話が弾み、どの年代でも楽しく協力しながら取り組めた。

…など

鑑賞「鷹山賞児童作品展をみてみよう」

- ◇作品に触れる機会となり、参加者同士でも意見交換をしながら勉強することができた。
- ◇描画の参考になった。世界の子どもたちの作品も鑑賞させたいと思った。
- ◇学芸員の方の説明で、作品内容が深く伝わってきた。鷹山宇一氏のことを改めて知るよい機会となった。

…など



12月26日(火) 上北地方教育研究会図画工作科部会が美術館連携を含めた研修会として当館を会場に開催されました。当館では次の2事業を担当いたしました。参加された先生方はワークショップでの粘土でスイーツ作りを楽しみ、又、作品鑑賞では、積極的な意見交換がなされました。

今回の研修会が、子どもたちの学びや表現の場で少しでも活用されることを期待し、先生方の感想を参考に学校との連携を強化していきたいと改めて思いました。



令和6年度

美術館スケジュール

※変更になる場合がございます。

4 / 27 (土) ~ 6 / 23 (日)

七戸町立鷹山宇一記念美術館開館30周年記念
日本芸術院会員 / 彫刻家

吉野毅展

〜内なる美、静謐の美学〜

1943年千葉県長生郡睦沢町に生まれ、東京芸術大学へ進学。彫刻を志してから60余年もの歳月が流れました。二科会を中心に、常に彫刻界の最前線で活躍をしてきました。ひたすらに具象表現を追求、抑制を効かせたフォルムと静謐な空気を纏うその女性像は多くの美術ファンを魅了し続けています。格調高い精神性を内に秘めた作品は、彫刻家・吉野毅の品格そのものを顕し、2012年日本芸術院賞受賞、2020年には日本芸術院会員就任という栄誉に輝きました。

本展は、開館30周年を迎える鷹山宇一記念美術館を開設当初から理事として支え、共に歩んでこられた彫刻家・吉野毅の初の回顧展として開催するもので、アトリエに収められた作品

を中心に、初期から現在に至る石膏、ブロンズ、テラコッタ作品に加え、秘蔵のデッサンや資料などを特別展示いたします。



7 / 27 (土) ~ 10 / 4 (月・祝)

七戸町立鷹山宇一記念美術館開館30周年記念
「描かれた女たち」展
〜女性像にフォルム・現実・夢〜(仮称)

笠間日動コレクションから、明治から現代までの洋画家による「女性」を描いた作品約50点を一堂にご紹介します。女性の身体美、フォルムとしての裸婦から、女性像に表された現実と理想、夢など、各作家のそれぞれの女性像から浮かび上がる多様性と、女性たちを巡るその背景に思を馳せ、華麗なる女性像の世界をご堪能いただけます。併せて、開館30周年記念として、鷹山宇一のレアな女性像を特別展示します。

10 / 26 (土) ~ 11 / 17 (日)

Art to you -
障がい者芸術世界展 in 青森

「Art to you」障がい者芸術世界展

は、障がいのある方の文化芸術活動を支援し、毎年Art to you「障がい者公募展」として仙台で開催している展覧会です。これまでの応募作品数は7,000点を超え、来場者は28,000人以上を動員しています。10回目となる今展覧会は芸術作品(絵画・彫刻・手芸)を全世界から公募し、審査で選定された「入選作品」を展示いたします。青森放送(株)、(公社)東北障がい者芸術支援機構主催、当財団共催により開催します。

12 / 8 (日) ~ 2 / 2 (日)

第23回鷹山賞児童作品展
第23回JOA世界児童画コンテスト
優秀作品展

青森県の小中学生に公募する絵画コンテスト「鷹山賞児童作品展」から入賞入選作品を展示します。併せて、地球環境をテーマにした「地球環境世界児童画コンテスト」から優秀作品に選ばれた世界各国の子供達の作品70点をご紹介します。第23回展の募

集テーマは「ひとと自然の幸せな時間」です。子どもたちの個性や魅力あふれる作品を是非会場でご覧ください。

3 / 8 (土) ~ 3 / 23 (日)

第84回国際写真サロン展

国際写真サロン展(朝日新聞社・全日本写真連盟主催)の第84回展です。最先端の写真芸術をお楽しみください。

令和5年度も大変多くのお客様にご来館いただきました。来年度は開館30周年!「語り継がれる展覧会を」を目指してより一層、皆様に喜んでいただける展覧会の開催を目指し頑張っております!



本年度も皆様のご来館ありがとうございました。
令和6年度もよろしくお願いたします。



令和5年度 七戸町立鷹山宇一記念美術館
美術館あーとくらぶ



1月から3月に開催した「美術館あーとくらぶ」の様子をご紹介します。

『七宝焼をしよう』

1月21日(日)に開催した『七宝焼をしよう』の様子です。七宝焼は毎年人気の教室で、今年も午前と午後に分けて行いました。

七宝焼はガラスの釉薬を800℃前後の窯で焼成する伝統工芸のひとつです。



今回挑戦するのはマーブル模様です。マーブル模様を作るために、高温の釜の中で溶けた釉薬をかき混ぜる作業を行います。このとき使った道具がマーブル棒です。溶けた釉薬は釜の扉を開けると急速に温度が下がり、硬化が始まります。時間との闘いです。私の合図と共に釜を開け、手早くマーブル棒をはしらせ模様を作ります。限られた時間の中で、きれいな作品が仕上がりました。来年もまた挑戦しましょうね。



『水彩色鉛筆を使ってみよう』



2月18日(日)に開催した『水彩色鉛筆を使ってみよう』の様子です。

水彩色鉛筆とは見た目は通常の色鉛筆と似ていますが、水で濡らすことで水彩絵の具のように仕上げる事ができる特殊な色鉛筆です。まず基本の塗り方を体験してもらいました。具体的な方法として通常の色鉛筆と同じように塗る方法、色鉛筆を塗った上を水筆でなぞる方法、色鉛筆の芯を直接水筆ですすり、絵具と同じように塗る方法です。これ以外にも様々な方法を体験してもらいました。



そして、基本の体験が終わった後、皆さんに鷹山宇一の「やさしい」に色を付けてもらいました。面白いことに色のない野菜の見え方は人それぞれ異なります。玉ねぎのように見える野菜は力ボチャに見えたり、大人がトマトと想像していた野菜は子どもにはスイカに見えたり。子どもたちの発想力にはいつも驚かされながら、楽しいひとときを過ごすことができました。



『粘土でスイーツをつくろう』



3月17日(日)に開催した『粘土でスイーツをつくろう』の様子です。樹脂粘土は乾燥すると透明感が出るため、フルーツやお菓子をつくるのに適しています。

今回は半透明の樹脂粘土を使用しておいしそうなプリンアラモードを作ります。トッピングするフルーツが多いため、イチゴとプリンの二つを作ってもらいました。



少し難しかったのですが、プリンは型抜きではなく、自分の手で形を整え手作り感のあるプリンができました。ホイップも絞る前に何回か練習をし、本番のハートのお皿に絞りました。リンゴやブルーベリー、ばなな、キウイ、春らしい桜の花を添えて、とても豪華なプリンアラモードが完成しました。



来年度の「美術館あーとくらぶ」も楽しい企画や者をご用意します。

みなさんの参加をお待ちしております。



美術館日誌

◆ 1月 ◆



- 3日(水) 仕事始め
- 8日(月) 鷹山賞最終日
- 9日(土) 館内整備(3/29)
- 10日(水) LED化改修工事のため
展示作品撤去
(株)青森スタジオ
- 12日(金) 絵馬等燻蒸作業用設備 たてつけ
(スペイン館/イカリ消毒(株))
- 14日(金) 七彩会油絵教室 (2F工房)
- 15日(月) 燻蒸ガス注入作業
(イカリ消毒(株))
- 16日(火) LED化改修工事のため
収蔵庫作品移動
(株)青森スタジオ
- 17日(水) 燻蒸ガス放出作業
(24日、イカリ消毒(株))
- 18日(木) 吉野毅展打合せ
(東京/副館長)
- 20日(土) 電気設備定期点検(佐藤電気)
- 害虫トラップ回収、設置
(イカリ消毒(株))

- 21日(日) WS
「七宝焼きをしよう」
(2F工房/織川学芸員)

- 25日(木) 燻蒸作業用設備撤去
(イカリ消毒(株))
- 29日(月) LED化改修工事開始
(3/22、(有三光電気))
- 30日(火) 富士薬品定期点検
(富士薬品(株))

◆ 2月 ◆

- 1日(木) 令和6年度
教育普及員補助採用試験
自動ドア定期点検
(ナフコシステム(株))
- 3日(土) 節分豆まき



- ・ 収蔵庫への作品戻し入れ作業
(4日、(株)青森スタジオ)

令和6年度3月31日をもって期間満了の為、退職されることとなりました。

令和4年から2年間教育普及員補助として、お仕事をさせていただきました。想像よりも遙かに力仕事が多く、常設展や特別展では全員で汗を流しながら協力し合い美術品を運んでいました。美術館で働くと言うことは、僕にとって非常に貴重な経験でした。お客様との関わり方や社会人としての在り方、その全てがまだまだ未熟であり職員の方々にはたくさんご迷惑をおかけしました。それでもこの仕事を頑張れたのは最後まで指導して下さった美術館の皆さんや今まで関わったたくさんの方々のおかげです。社会人として、どんな姿勢でどのような心構えが必要なのか身をもって体験することができた僕は恵まれているのだと思います。本当に感謝しかありません。友の会の皆様や副館長をはじめ職員の皆様、そしてひばり館長、2年間大変お世話になりました。

教育普及員補助 佐々木 信心

- 6日(火) 電気設備定期点検(佐藤電気)
- 9日(金) 令和6年度事業打合せ
(理事長、常務理事、副館長、遠藤学芸員、織川学芸員)
- 11日(日) 七彩会油絵教室 (2F工房)
- 14日(水) 吉野毅展打合せ、作品借用
(東京、千葉県立美術館他/副館長)
- 15日(木) 公用車車検
(23日、柴田自動車(株))
- 17日(土) 害虫トラップ回収、設置
(イカリ消毒(株))
- 18日(日) WS
「水彩色鉛筆を使ってみよう」
(2F工房/織川学芸員)
- 21日(水) 学芸員照明研究会
(22日、東京/遠藤学芸員、織川学芸員)
- 28日(水) 3月の春まつり連絡会議
(副館長)

◆ 3月 ◆

- 2日(土) 棟方志功記念館を表敬訪問
(常務理事、副館長)
- 7日(木) 理事会打合せ
(理事長、常務理事、副館長、成田事務員)
- 9日(土) 吉野毅展打合せ(青森放送株
十和田支局長中村氏、当財団)
- 10日(日) 第1回理事会 (2F工房)
- 12日(火) 七彩会油絵教室 (2F工房)
- 17日(日) WS
「粘土でスイーツを作ろう」
(2F工房/織川学芸員)
- 23日(土) 第1回評議員会 (2F工房)
- 26日(火) 写真サロン展看板取付
(株)青森スタジオ
- 30日(土) 写真サロン展他作品展示作業
(29日)
- 30日(土) 会報発送作業
写真サロン展初日 (4/14)

「日本橋」を訪ねて

東京都中央区



日本橋上空にかかる首都高速都心環状線を地下化して青空を取戻す事業は2040年度の完成を目指して既に始まっているそうです。

東京地方の民謡「お江戸日本橋」に歌われ、江戸時代は五街道の起点と定められた「日本橋」(国重要文化財)を徒歩で渡って見たくて昨年4月下旬に訪れました。
日本橋が架けられたのは、徳川家康が幕府を開いた慶長八年(一六〇三)と伝えられ、翌年幕府直轄の主要な五つの陸上交通路(東海道、中山道、奥州道中、日光道中、甲州道中)の起点として定められ、江戸市街の中心に位置したため、橋のたもとに日本橋川沿いは、江戸一番の賑わいを見せていたそうです。
現在の日本橋は、明治四十四年(一九一三)に木橋から石造道路橋に架け替えられ、国道1号、4号を含む7本の国道の起点になっています。橋の中央には、50センチ四方のブ



獅子像

毎年7月には、名橋保存会や地元「橋洗い」の町会を中心

「日本橋」の道路元標のプレートが埋め込まれている。その上で、車道の上なので見ることが出来ません。ちなみに、東北と関東に大動脈国道4号の終点は青森市長島二丁目(742.5km)は日本一長い国道なので。橋の四隅には、一般公募で、花の広場、滝の広場、乙姫の広場、元標の広場と命名された広場があります。日本橋の説明板には「前略、橋には照明灯のある銅製装飾柱を中心に和漢様折衷の装飾が施されています。中でも、建築家・妻木頼黄の考案に基づく麒麟や東京市章を抱えた獅子のブロンズ像(原型制作・渡辺長男、铸造・岡崎雪声)は、衣装的完成度の高い芸術作品といえます。なお、親柱に記された嬌名の揮毫は、第十五代将軍・徳川慶喜の筆によるものです。その後略一と記されています。

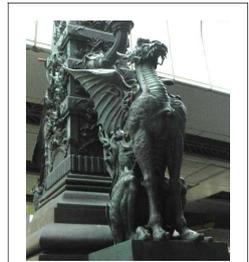


日本橋:ルネサンス様式の石造二連アーチ橋。橋長49.5m、幅員27.5m。



元標の広場
日本国道路元標複製(中央下)と東京市道路元標

夏が行われる詩の風物詩になる。川や神田川を巡る観光船の船着場がある滝の広場、日本橋魚河岸発祥の地の記念碑がある乙姫の広場で説明板を読みながら水分補給、歩道を渡って元標の広場では日本国道路元標複製、東京市道路元標等を見学しました。
また、三越本店本館のライオン像、日本銀行本店本館等の周辺観光スポットを散策しました。
二日目はアーティゾン美術館(旧ブリジストン美術館)で開催中の世界的音楽家坂本龍一が参加した最初の作品、第59回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展日本館展示帰国展「ダムタイプ 2022: remap」と「アートを楽しむー見る、感じる、学ぶ」を鑑賞しました。
久しぶりの東京都内への二泊三日の旅行でしたが、何時かは歩きたいと思っていた日本橋を訪ね、教科書で習った青木繁の「海の幸」、岸田劉生の「麗子像」(1922年)等を鑑賞して有意義な時間を過ごすことができました。



麒麟像

国道4号終点を訪ねて

国道4号の起点を訪れたからには終点もと思い、同年7月下旬に青森市青い森公園前に設置されている「国道の碑」を訪問しました。4号終点は7号終点(起点:新潟市)でもあり両国道の分岐点になっていました。自然石を利用した碑の制作者は、青森市出身の彫刻家鈴木正治氏(1919年~2008年)。



国道の碑

◎国道4号と7号の分岐点の標識 ⇒
・日本橋まで740km
・新潟市まで473km



7号終点 →
これより4号
(東京方面)

←4号終点
これより7号
(新潟方面)



参考資料
日本橋(中央区エリアガイドマップ)、その他
八戸市 照井壽一

七戸町の風景 「嫁占いのほうの木」

を訪ねて

八戸市 照井壽一

四季折々、あちらこちらの風景を訪ね歩いて楽しんでいます。昨年5月には、七戸町中心街から国道394号を八甲田山方面へ向かう途中の上田(カミタ)地区にある「嫁占いのほうの木」を訪ねました。

七戸町史等によれば、かつて七戸地方では、その年15歳を迎えた少年たちは、オダケ参り、ないしはオダケ参り(注)と称して、旧暦4月15日に八幡岳山頂に祀られている八幡様に登頂参拝するならわしだったそうです。無事に参拝をすませた少年たちは、ここ上田のほうの木の古木に立ち寄り、途中で用意してきた木の鉤を後ろ向きになつてほうの木の枝に向かって投



お嫁さんの授かる方向を占ったほうの木



「嫁占いのほうの木」看板

げかけ、自分の「お嫁さん」になる女性などの方向から来るかをその鉤のさす方向によつて占つたそうです。

いまではオダケ参りのこともほうの木のことあまり話題にならないように思いますが、平成12年(2000年)ごろに訪れたときには、立派な看板を立てられ、枝に張られた針金には木の鉤が何本も架けられていたので、オダケ参りも嫁占いも続けられていたように思います。

少子高齢化、過疎化が進むなか、伝統行事を承継することは非常に困難だと思いますが、残したい上田地区の風景です。看板あるいは説明板等があればと思いました。

帰路、近郷近在のそば通の方々のあいだで人気があるという婆古石(ぼっこいし)そばを食べたいと思いましたが、残念ながらお休みでした。新緑の季節になったなら、おにぎりを持ちカメラを携えて、七戸町の風景を訪ねたいと思います。

(注)「オダケ(雄嶽)」は八幡岳(七戸町の西方約8km、標高約1020m)の昔の呼び名。オダケ参りは、以前七戸地方は勿論のこと周辺各地の少年達の一つの通過儀礼だったそうです。

参考資料

七戸町史第1巻、その他

新規会員入会お誘いのお願いと

友の会会員登録更新のお願い

令和5年度も会員の皆様には、友の会運営に多大なご理解とご協力をいただき、誠に有り難う御座います。新年度も友の会では、鷹山宇一記念美術館の応援と会員の皆様に喜んで頂ける研修旅行、講演会等を企画し、微力ながら地域文化の発展に寄与していく所存でございます。尚、更新及び新規入会手続きは、美術館窓口と同封の郵便振替等により随時行っております。

○友の会の事業内容

- ①県内外美術館研修視察旅行(年2〜3回)
- ②海外美術館研修旅行
- ③美術館作品購入基金への協力
- ④鷹山宇一記念美術館ボランティア協力
- ⑤会報の発行
- ⑥その他(美術講演会の開催等)

○一般会員

会費 (個人) 年会会費 3千円
特典 ①無料入館券3枚。会員証提示により入館料2割引き

○特別会員

会費 (個人・法人) 年会会費 1万円
特典 ①会員証提示により個人・法人会員とも本人及び同伴者1名まで無料入館

○賛助会員

会費 (個人・法人) 年会会費 2万円
特典 ①一般会員特典に加えて

- ①会員証提示により個人・法人会員とも本人及び同伴者3名まで無料入館
 - ②新規加入の方に画集1冊贈呈
 - ③特別企画展の都度、招待券を贈呈
- ◇詳しくは、美術館までお問い合わせ下さい。

★お知らせ

会費の納入は随時受け付けておりますが令和6年10月1日から7年3月31日迄に新規会員となった方は、令和8年3月31日までの会費となります。新規会員入会のお誘いを宜しくお願い申し上げます。

編集後記

★1月1日に発生した能登半島地震により被災された方々の一日でも早い復興を心からお祈り申し上げます。
★会報第114号をお届けします。本年度も皆様のご協力を頂き会報をお届け出来ること深く感謝申し上げます。
★令和6年度、30周年記念事業へのさらなるご協力をお願い申し上げます。
(照井壽一)